

本館新聞除禮拜外日出一
紙諸君賜閱本報者無論
本埠外埠均可致本館取
閱如外埠閱報加寄費可
也除日報照常刊送外復不
惜工本從英國採辦釘書裁
紙各機器以待與各官商
刊印書籍單件並有英國各
種活字及各式花邊等延有
西人操印工藝甚精所有中
西文字均能刊印並有石版
印字大小機器均用精工刊

(號一廿第牌門口虱巴舊在設開館本)

(號一廿第牌門口虱巴舊在設開館本)

印工總絕倫並延有文士書寫各體文字現由上海購到各種書籍出售其書目另行刊佈所有各項價甚相宜再本館所登來札原擇其有關世道人心者附登否亦須無礙於人而後始錄其有謬誤成文以及支離費解者概不登報嗣後 諸翁來札尙祈自諒更須寫真爵里而後放登但來稿登與不登均不能將原稿收回也 本館謹白

昔鄭子產授政於子大叔而戒之曰唯有德者能以寬服民其次莫如猛夫火烈民望而畏之故鮮死焉水
懦弱民狎而踞之則多死焉故寬難及大叔爲政不忍猛而寬於是鄰國多盜取人於崔荷之澤大叔悔之
與徒兵而盡殺之盜少止仲尼曰善哉政寬則民慢慢則糾之以猛猛則民殘殘則施之以寬寬以濟猛猛
以濟寬政是以和讀書至此未嘗不無疑焉及觀於中日戰事然後信古人之不我欺也夫日本以彈丸島
國靈爾公麼雖則步武泰西雖已有年然亦徒襲皮毛毫無實際乃夜郎自大遽逞干戈營兵雖有十餘萬
而三丁抽二半多羸弱之民戰艦雖有數十艘而商船居多難供戰陣之用談兵者莫不謂天戈所指定能
一鼓成擒機槍盡掃矣乃無何大東溝一戰敵人雖狼狽敗走而毀沉兵艦彼此數亦相當雖勝不足爲武
平壤之役敵兵雖有二三萬而我師亦有萬餘乃衛汝貴輩自統一軍未戰先逃祇餘左帥數營獨力難支
卒致爲國捐軀而諸將猶不知愧勵復舍棄義州直渡鴨綠江而去坐使五百里之屏藩數十萬之軍需全
行資敵士氣爲之不振豈非得宋官保立出奇兵克復九連城陣斬日人二萬人一壯軍威不幾今日人畏
驅直進無所抵禦乎推原其故蓋由統兵諸將稔知 朝廷寬大爲懷嘗浮於罰前則如庸臣張佩綸馬江
一役望風先逃辱國喪師猶得倖稽顙戮近則如濟遠管駕方伯謙遇敵慌張避匿船底及至大副沈壽昌
中炮身亡卽命鼓輪逃遁棄廣乙操江於不顧事後雖微告許而手斧柯者存官官相衛之心並不加以懲
處厥後遇敵於大東溝正副提憲親自督陣該管駕仍不遵將令先行逃逸牽亂船伍自行撞傷超勇廣甲
二艦至是統領知其罪無可逭不得已始行奏明處以軍法而當看守待罪之時其舊部見勢不佳勸令囑
咐後事猶且怡然自得謂 朝廷無殺總兵之刀卽使有罪亦祇削職而每月數百兩之薪水依然尙在
其恃 朝廷相待之寬已溢於言表衛帥輩有見於此故當未戰之先胆敢尅扣軍糧縱兵騷擾奸淫擄掠
無所不爲當戰之際又敢望敵先逃毫無紀律窺其意以爲 朝廷縱治其罪亦不過革職而止而厚資坐
擁猶得面團團作富家翁較勝於死沙場徒以馬革裹屍故故公然出此也向使出師之際 朝廷嚴申
喪師之律定以果斬之條則諸將何敢玩愒若是耶今者方伯謙衛汝貴均已正法抵罪矣葉赫兩帥則已
革職爲民矣卽丁禹帥譴叙之案亦已撤銷更改派漢軍門爲海軍提督 天威大震其嚴厲爲何如諸將
士當從此有警於心一洗其平時委靡不肖之習更望典兵者於此而嚴其號令明其賞罰勿仍若前者之
優遊縱弛庶幾懲一儆百畏者起衰而立懦貪婪者漸庶而洗心士賦同仇軍皆用命彼區區小醜掃除
而殲滅之直指關東事所謂一怒而天下之民舉安者此也否則因循委靡彼此效尤雖日人之惡自有天
誅不免曠日持久矣

諭旨恭錄 ○九月初九日奉 上諭巡視中城御史恩順等奏援案請賞外城粥廠粟米開單呈
覽一摺現在節屆寒令五城地方貧民生計維艱所有中城之朝陽關東城之臥佛寺育嬰堂南城之打磨

之七... 試問... 天下... 詐力... 所... 爭... 願... 借... 我國... 之... 同... 聖... 議... 議... 以... 爲... 指... 須... 還... 諭... 旨... 恭... 錄... ○九月二十三日... 奏... 事... 處... 口... 傳... 奉... 旨... 傳... 察... 哈... 爾... 濱... 都... 統... 等... 奏... 爲... 阿... 山... 西... 按... 察... 使... 張... 汝... 梅... 貴... 州... 按... 察... 使... 唐... 國... 壽... 改... 於... 二... 拾... 五... 日... 選... 辦... 子... 錦... 州... 副... 都... 統... 崇... 善... 改... 於... 二... 拾... 六... 日... 選... 辦... 子... 廣... 州... 將... 軍... 嚴... 格... 湖... 南... 布... 政... 使... 何... 樹... 改... 於... 廿... 七... 日... 選... 辦... 子... 潘... 運... 總... 督... 松... 林... 於... 廿... 八... 日... 選... 辦... 子... 廣... 東... 陸... 路... 總... 督... 唐... 仁... 廉... 於... 二... 拾... 九... 日... 選... 辦... 子... 何... 侯... 召... 見... 以... 此... ○廿... 九... 日... 奉... 上... 諭... 王... 廉... 奏... 特... 委... 辦... 防... 監... 犯... 致... 斃... 多... 命... 之... 督... 獄... 等... 官... 官... 分... 別... 懲... 處... 一... 摺... 湖... 南... 永... 定... 縣... 監... 犯... 李... 四... 八... 李... 壽... 臣... 因... 與... 同... 監... 犯... 人... 口... 角... 致... 斃... 監... 犯... 禁... 卒... 人... 等... 多... 命... 並... 拒... 傷... 督... 獄... 家... 丁... 扭... 開... 獄... 門... 逃... 逸... 被... 追... 獲... 該... 二... 犯... 自... 刎... 身... 死... 該... 督... 官... 疎... 於... 防... 範... 各... 無... 可... 辭... 督... 獄... 官... 示... 縣... 典... 史... 鄭... 家... 等... 即... 行... 革... 職... 需... 者... 有... 獄... 官... 署... 示... 定... 縣... 知... 縣... 李... 向... 卿... 著... 即... 撤... 任... 隨... 候... 查... 辦... 餘... 著... 照... 所... 擬... 辦... 理... 該... 部... 知... 道... 欽... 此... ○拾... 月... 初... 八... 日... 奉... 上... 諭... 松... 林... 等... 奏... 司... 員... 呈... 請... 効... 力... 請... 獎... 一... 摺... 刑... 部... 主... 事... 楊... 登... 甲... 著... 交... 吳... 大... 澤... 差... 委... 用... 欽... 此... ○同... 日... 奉... 上... 諭... 廣... 東... 巡... 撫... 著... 爲... 不... 補... 授... 欽... 此... ○十... 月... 初... 七... 日... 奉... 上... 諭... 鍾... 寶... 補... 授... 詹... 事... 府... 詹... 事... 欽... 此... ○同... 日... 奉... 上... 諭... 剛... 毅... 現... 已... 補... 授... 軍... 機... 大... 臣... 著... 照... 所... 擬... 辦... 理... 該... 部... 知... 道... 欽... 此... ○同... 日... 奉... 上... 諭... 翰... 林... 院... 奏... 京... 員... 呈... 請... 投... 効... 據... 情... 代... 奏... 各... 一... 摺... 編... 修... 陳... 嘉... 音... 著... 均... 著... 交... 吳... 大... 澤... 差... 委... 用... 升... 用... 侍... 講... 王... 榮... 著... 毋... 庸... 發... 往... 欽... 此...

華軍大勝電音 ○昨接英京發來電報云現聞中國 皇上已特簡副提督漢納根爲海軍正提督所有戰艦海軍等一切隨其節制而中國官場復接文報謂前日倭兵進寇厚天嶺乃被華軍擊至大敗四散而逃華軍則直至數英里之遙云云以上乃來電所言按每英里爲華里三里三然則華軍追逐至數英里之遙則日兵狼狽情形可見夫自中日構釁以來各接呂打電音莫不抑中揚日遇有倭人得勝即大肆夸張其遇中國時音每擱而不知即不得已而傳電亦惟約略言之乃今觀此電報所言謂日兵四散而逃華軍追剿至數英里之遙可知日兵此次受創之深縱欲掩之亦無可掩故不得不爲之電達然則此次華軍之大捷也可知夫陸軍既經大勝而海軍復得漢軍門爲之統領行見旌旗變色壘壘一新義彼倭人有不驚指揮而定矣惟昨接外間風傳是役之戰日兵之死亡者約至二三萬人并聞人言黃公度觀察亦與友人談及曾接官電有日兵死至三萬餘人之說惟本館尚未接有確信不敢冒昧據以爲憑然但即此電報觀之已可想見日兵之死亡亦殊非少矣愛而錄之以作露布

中日電音 ○二十日英京發來電報云現在旅順炮台已再添巨炮一百尊若使敵人來攻勢有甚難之處而日本將校亦輕自督戰若往攻該口則日軍必至大受其創死亡之衆實有不可勝言等語觀此電報所言則其言固之處可見中國軍容不然而一變觀彼日人其向敢正眼相視耶惟前接來電音竟言旅順一口已爲日人所奪迫至近來觀各電則旅順固安然無恙今再得此電信則旅順防務且至如此其嚴即彼倭奴亦自知其不能得志可知前電所謂旅順失防之事亦屬一片無稽之說其事誠係出於倭人之口乃其不解呂打生涯之虛探訪之多乃所報之事并不詳查惟據日人一面之詞冒昧爲之傳佈然則此中弊實不從可想而知耶來電又言現在朝鮮東學黨人日多一日而高麗之精兵則不但不爲剿擊并且爲之助力以相聯絡云云夫東學黨人初本從日人之說肆亂於朝鮮乃今亦反戈以向日人而高麗精兵亦且與之相合可知彼倭之在朝鮮多行不義以至人心畔散甚即倭使爲之倡亂人人亦且如此人心所在順逆攸分彼倭人向欲得志於朝鮮豈不徒勞夢想也耶來電又云衛總統決貴奉 旨拿問逃返都門 九里以其縱容兵丁失機擄虐 天威震怒業已將其明正典刑而葉恭兩帥亦經革職云云夫以衛總統之縱兵恣虐誤國誤民洵屬死有餘辜今觀其如是牧場則平日之工於營鑽亦何用耶

英船東渡音電 ○二十日英京發來電報云英商快船兒不勞打現已由英啟行前往中國海面等由查該船係爲銅皮鋼質乃第一等快船大有七千七百墩其機器可抵馬力萬二千匹每點鐘能行十九更七五計製造該船之費約近三十五萬磅之數船中煤艙甚廣若使滿載煤斤而平常駛行每點鐘祇行十更則可以行至十萬更之遠其煤亦能充足無須再爲添落然則該船製作之善有可知矣

英儲赴俄電音 ○二十日英京發來電報云英儲現往俄京以行用唁故君并賀新君即位之禮而俄君款接之殷亦與在於青宮之時無異既敦鄰誼復切親情英俄邦交有可想見矣

呂宋風電 ○昨接小呂宋來電稱現在柳順北境起有颶風其風係由東南之偏東向西北之偏西而去云云爰錄報中以告重洋來往者

海軍捷耗 ○昨日聞地風傳中日兩國海軍在附近黃海之處大戰日船敗北云云是說也談者紛如諒非無因而至惟本報尚未得確據多特先行佈達以慰衆心俟接 各再行詳報

意船東渡 ○有意國快船名庵勿里亞者於二十日由高浪露抵嶺到嶺之後輕便鳴炮與本坡爲禮陸旗山亦鳴炮答敬查該船係奉命東行者已定於本日開輪駛往中日海疆駐紮并聞意國東渡之艦不備此一艘爲然并有三船隨官續駛云

荷船報章 ○昨接吧城來信云附近泗水及摩厘之馬流勝海峽有荷國國家於本坡將甘烟烟派員自行督理今其第一月內所沽

象頭標蜜酒



大英一千八百八十九年二月號

不列時聲新前印發發行

天



大英一千八百九十三年九月廿一號

啟者本公司由歐洲督辦象頭標蜜酒來助專為賣得力確仕商所用此酒氣味香通且能煩解渴於胃健力增土最為相宜海合諸君所用時請認明其標式并辨中像圖一

覽而知按式購取倘蒙 光顧至請舊巴里街萬興號右鄰本公司公細認象首標為記庶不致誤價極平特此佈聞

新嘉坡廣興泰號謹啟

紅酒百仔萬國酒出售



Bisquit Dubouché & Co.
COGNAC

啟者本公司所製之紅首仔標萬國酒名已久乃在歐洲名家所製自一千八百一十九年相傳至今已閱七十年之久而其酒收存有十年方肯出而沽賣故其熱氣極已全消所以 諸君沾飲者均深獎譽在歐洲各國古之人無不嗜飲此酒因其氣味清香遠勝於他酒故也是以本行特辦此酒來助發售自此酒到叻而後凡沾飲者無不感其美且其價與本坡天氣甚相合宜 諸君購所細心辨認明庄及以上所列各標頭并有帶來 十拿九穩只恐同等西字為難辨認為味日之混是所切

正合標萬國酒出售



以上所黏各標如無本行不發呼聲字者即為假貨幸勿為之誤買本行有厚望焉

大英一千八百八十九年十二月三號

不發呼聲即非本行所發

現在市上假冒者甚多
啟者本公司所督辦正金花標萬國酒久已馳名叻地華商君子均喜用之現已議定與本坡酒公司包以以便往外處者仍有欲寄購者請至酒公司買便得如買成起以便往外處者仍可至本行估買至此酒製造之精香味異常以此之酒為上等之件若無偽充之弊此酒若在本坡沽宜且價亦甚廉凡諸君沽用須細心辨認以免誤購之混

投札須知 ○近來接外間來札或藉情以誣其懷抱或觀時事而發為閒評此類甚多其更有一種實味無謂者如在本坡兩投本館則以一介資投便得乃投函者偏又不交本館而送至郵局中代為轉達試推其故諒由不欲人知其伴面之人名姓不知若論時事又實長人之知若其自匿姓名則反有違報館之章雖有佳文亦斷不為之錄入倘必欲郵局轉遞則請黏貼三占之鹽印本館方能收接因郵局今已改革即在叻地代遞書函亦須至三占書費也此佈

貨船出稅

啟者本行向有第一號貨船數間坐落丹戎知東地方現欲出稅與人購備用貯置土油及火藥等貨最為合宜倘諸君有欲稅此貨船者請至本行面商便得至稅船稅一節務期格外從廉此佈 英一千八百九十四年六月二十號 重寶得洋行謹啟

本館謹啟

慕娘公司白蘭地

弋蓋以北洋船隻正需入塢修理而又偵悉南洋特派南琛南瑞等其輪四艘來津故被抵陳乘瑕為要蓋之計今北洋兵船除來還外均經修理完竣出洋巡緝故電報日艦三艘此亦一好消息也

為花下鬼 ○謝高閣潭平和縣人前誘其妻于來叻在冷牛車水碩莪街費有東洋車館饒有所嗜惟高褐色性成每於月夕賦閒輒效章臺走馬故尋花間柳習以為常於二十夜高復至丁加奴街存勝娼樓嫖戲因與某妓訂為度夜交更詎料運福將深曉鳴三點而巫山雲雨夢入襄王國乃不知緣何高忽暴病猝發氣息奄奄身無幾時而高猝斃於該妓之床上矣時妓以高暴斃不禁失措徬徨後為該娼樓東主即赴附近差館報聞至二十一早業經差役等昇高屍赴於國家醫院病驗驗屍官等剖驗然尚未經判定故其致死之由仍未得悉第據外間所傳有謂高之斃命係為陽脫所致然究屬付度之詞未得據為實據俟西醫判明始得知所因也

泉案畢訊 ○本屆泉堂案牘共有廿三起前日經已訊結拾九起尚餘四起於昨廿二日業經畢訊茲將各案登列左方以供眾覽
第一起閩人林福槍案因原告尚未到堂爰命將其開釋 第廿三起閩產閩人林文成槍案訊定後陪審員均稱被告無罪因判將其開釋
第四起爪亞人亞兒查多三與及亞兒查多勝澤傷人案命案訊畢後其首犯果屬有罪判將其監禁三年次犯乃事外之人爰命將其摘釋
第拾二起亞拉油人亞武武等虧空案訊定後判將其監禁三年

毆傷求治 ○二十日下午四點鐘時丹戎巴葛船澳有某輪船東渡適有閩籍散工甲乙兩黨人緣落貨爭先因而毆擊以致各黨其黨互相用武乃有甲黨傅坤者被乙黨毆傷頗重仆於地中嗣為巡差察覺即執赴場拘捕重懲徒畏罪急逃竟無一獲祇得將傅昇往國家醫院求治云

盜案候訊 ○粵婦何亞喜向在牛車水戲園街創有新彩雲娼寮藉此搖錢之樹厚積度夜之金千十七夜忽被人將其衣箱盜去一具內有銀紙計值銀三百三十元并金器計值銀四百八十五元三角合共計八一百十五元三角不知為誰盜去何婦因即赴附近差館報聞以期緝捕嗣有婦暗為細察有謂該寮中之傭婦黃亞才林亞四二婦同謀作盜等因何婦故於二十日呼三畫列等差赴該寮將黃林二婦與傅為之搜索果得有金器原班尚在惟銀紙概已不翼而飛遂將黃林二婦拘逮於案廿二日經伊太守提訊略詰數語未能即下判詞因命將案展緩至廿九日再復提訊訊鞠確實林二婦現已自覓保人署銀三百元保出在外候訊云


巡差被控 ○式拾日府尊傳訊巡差被控之案一起原告蔡英蘭人也到案供稱係在小坡新街街聯成號僱工事於去月拾八日奉伊東主之命携有鐵鍊一條欲交其中伊行至中途因被巡差攔阻會獲僱匪徒遂即執交巡差館後店東知覺即到差館訴明旋蒙巡差准予釋放詎有第五號二巡差孟買差公然留難強索賄賂不與即施毒毆心有不甘故特控之於案云云府尊訊畢後判將該差監禁三個月之期惟該差不願就獄欲將案上控泉堂但不悉府尊否能核准也

京津選錄 ○欽差大臣大學士直隸總督一等伯臣李鴻章跪 奏為遵 旨酌定遠鎮遠兩艦海戰出力員弁懇請仰祈 聖鑒事竊海軍各艦於八月十八日在大東溝洋面與倭艦接仗力挫兇鋒當將大暑情形電達總理衙門轉奏於十九日欽奉電 旨大東溝之戰日船傷重鎮遠各將士苦戰出力著李鴻章酌量保獎以作士氣等因欽此仰見 聖明俯念微勞有功必錄之至意當即恭錄施行欽遵查照茲據海軍提督丁汝昌查明核擬呈請具奏前來臣查大東溝一戰我以十艦當倭十二艦實人船炮俱快我軍奮力衝擊血戰逾三時許始則互有損傷既而我船或沉或焚或因傷慘補或駛迫敵船僅餘定鎮兩艦繼與日各艦相持三點餘鐘之久日炮四面環攻我軍誓死抵禦卒能以寡勝眾轉敗為功登時擊沉其督船戰船三艘因傷後沉者尚不止此數其彈藥全裝陸隊將由大孤山登岸內犯竟遭覆沒而我船運送銘軍八營得以乘間登岸不致被截份全實多當日苦戰情形臣於九月初七日業經詳報奏陳全船將士同心合力愈奮愈勇始終不懈均屬勇敢可嘉現奉 諭旨酌量保獎自應按照部定章程不得逾十人之數謹擇其尤為出力者分別酌擬獎敘頭品頂戴右翼總兵張勇巴圖魯步軍統領等指揮陳謙謙裕擬請 旨以提督記名簡放當換清字勇號頭品頂戴提督銜左翼總兵果勇巴圖魯林泰會擬請以參將儘先補用升用遊擊提督都司吳應科擬請免補遊擊以參將儘先補用楊用霖李鼎新吳應科均請 賞給勇號升甲都司左翼中營守備曹嘉祥升用都司右翼中營守備徐振鵬右翼中守備沈壽堃均擬請免補都司以遊擊儘先補用通判將銜左翼中營守備沈叔齡右翼中營守備高承錫均擬請以都司儘先補用並 賞戴花翎以十員均係異常出力仰懇 天恩俯准照章擬請給獎以示鼓勵謹將丁汝昌統率全軍身當敵敵奮力戰勝洋將弁効死用命應請交部從優議敘伏候 聖裁其餘千總以下出力各員照章由臣等酌給獎所有查定鎮遠兩艦出力員弁請獎緣由理合恭摺具陳伏乞 皇上聖鑒訓示 奏奉 硃批另有旨欽此○李鴻章片 再九月十一日准總理衙門電開本日奉 旨洋員漢納根在海軍當差教練有方此次大東溝之戰奮勇効力深堪嘉獎加恩賞給二等第一寶星以示鼓勵欽此當飭水師營務處按照等第製成寶星發交祇領此次海戰洋員在船者共有八人陣亡二員受傷四員餘洋員等以異域兵官為中國効力不惜身命奮

勇爭先海關忠於新事深明大義較之中國人員尤為難得漢納根中將 特恩授賞西人傳稱欲美有加其敵死事立功者自應一體給予
獎卹茲據丁汝昌奏漢納根中將具奏請來覆加卹所有前明陣亡之定遠等艦洋弁尼格路士余福爾二員擬請按例卹恤並給予
三年薪俸以示體卹其力戰受傷之總督領遠砲務德員令卜們擬請卹恤水師參將用明定遠副將等員擬請卹恤並給予
獎卹成案辦理遠管帶吳員馬吉芬均擬請以水師遊擊用該四員前請 賞戴花翎給予三等第一寶星並西國實功之典圖章實星至應募來
華各員尤以馬中國官號為榮足見仰慕華風情殷懃効勞頗著本有花翎總兵銜中次在船中戰尤為出力可否請 賞加提督銜以示優
獎出自 恩施逾格以上各洋員所請獎卹如蒙 俞允照辦 特旨宣示愈足堅其効力用命之忱是否有當理合附片具陳伏乞 聖鑒訓
示謹 奏奉 硃批另有旨欽此

工部局告白 ○啟者茲本局所估一千八百九十五年本坡工部局界內各屋全年屋稅以便抽取門租者其冊現列出存於勞民
中路本局寫字樓內以便稅之人到閱除禮拜外每日均可到本局寫字樓內觀看而本局員當於一千八百九十四年利運末月拾九號即
華拾一月廿三日禮拜三下午二點半鐘當在六馬路寫字樓內會集以便聽斷稅之人來訴所估之價或有不公之處倘逾此期即將其冊止
結又凡有入字來訴門稅事務者當於所定聚會之日以前投遞或至是日前來當堂訴辨以便將冊再行更正均無不可特此佈告
大清光緒二十年十月二十三日 大英一千八百九十四年十一月十二號 工部局司理人拔兀刺士奉命謹啟

猴標火牌 賣出



啟者本號新到怡和洋行猴標火柴發客整色白珠頭甚佳即任潮港亦能生火前在粵東香港
與及檳榔嶼等處最為通銷久已馳名中外惟助地乃係初到誠恐多有未及通知者今特將其標頭
錄於報中以便 諸商會就近採辦另有別款火柴甚夥未能盡錄如欲光顧祈至本號面議價甚相
宜此佈 大清光緒二十年十月廿二日 星嘉坡中街廣隆號謹啟

駐紮實德力大荷蘭國領事官告白 ○啟者茲有孟加開孟加及龜嶺地方鹽碼欲再行招商入票承辦以上之碼係定於西本月
三拾號即華拾一月初四日在孟加開開投此碼係承辦一千八百九拾五年一載之期或承至一千八百九拾六年及一千八百九拾七年三
載為期均無不可 諸商有欲承辦者請如期前往投充可也特此佈告
大英一千八百九十四年十一月拾七號 駐紮實德力大荷蘭國領事官刺惟那告白

辭伴聲明 ○啟者敝號源泰向在小坡新街第一百三十八號門牌創為銅漆各器生意理應號內向延有曾永俊陳萬二人在店司
理各務茲已緣事將此二人辭出合應為佈聞倘有陳二人在外有與各寶號交易往來等數惟向經手是問均與本號無涉先此聲明以免
後論此佈 大清光緒二十年十月十八日 源泰號謹啟

承頂聲明 ○啟者小坡大馬路水仙門第六百二十零三號門牌南盛號印字館原係任耀南任炳才黃鑑泉三人合股同創今他三
人志圖別業願將全盤舖底傢私一概賣與繼興堂承受準於本月念七日交易倘南盛號黃鑑泉任耀南任炳才與 各號商有滙借欠等
項祈於念七日以前列單掛號聲明屆期不報乃係自誤與繼興堂無涉特此佈聞免至後論
大清光緒二十年十月十八日 大英一千八百九十四年十一月拾五號 南盛號內繼興堂謹啟

代理滙兌生理由告白 ○竊以滙兌多術扼其要在通有無而善運長才濟其功亦資潤注而況開山選選音香每苦淹遲而財貨盈虛
載運良多轉折而欲使往來無礙呼應通靈此滙兌之舉所以同利其便也啟者本號在實叻香港及暹羅等處開設有年謹慎經營向為
仕商所深信託茲本號再行兼辦滙兌生理由所有新嘉坡香港網絡三處往來銀兩均能代為滙寄斷無舛誤或係現銀之票或按期之票悉
由滙者自便至於滙水等費較於時價格外相宜 諸君有欲滙兌以上各地銀兩者請 移玉惠臨本號相商為盼特此佈告
大清光緒二十年十月初九日 新嘉坡裕盛棧謹啟

名醫到城 ○嘉應張開琴韻琴兄弟兩茂才今之國手也徐花農學醫會拔置醫學第一並贈以探微樞景匾額生平於醫學無所不
究所著有醫門類考本草和譜神效等書善治內傷至感冒標疾尤應手輒効現到本坡寓松栢街廣豐行內余素與鄰居兼有世誼故樂誌以
告華眾 大清光緒二十年十月十七日 總領事黃遵憲識

銀行遷移告白 ○啟者茲本銀行在郵政局對面水景前新建之行經已告成茲定於西慈民末月一號即華本月初四日遷至該新
行內經營特此佈告 大英一千八百九十四年十月三十號 香港上海滙豐銀行謹啟

東理直和利因直挽藥油可治風濕凡有骨肉疼痛手足不遂氣喘喉燥筋痛頭痛久嗽氣痛及痔瘡等症試問如何治法嘗有數千人謂

理方直靈監製



水用此藥依法調治一月便愈有思此病者請嘗試之便知余之所好非阿也 大英一千八百九十四年十月三號 惹巴詩育敬誌

駐紮實德力大荷蘭國領事官告白 ○啟者茲有蘇門答臘轄下東方一帶餘望加麗及打綿香兩地不在其內其餘各地豕肉餉
再招人入票承充此餉或承辦一千八百九十五年一載為期或承至一千八百九十六年及一千八百九十七年三載之期均無不可而
此兩地定於西本月二十六號即華本月二十九日拜禮一在棉蘭出投 諸君有欲承辦者請如期前往投充是荷特此佈告
大英一千八百九十四年十一月十五號 駐紮實德力大荷蘭國領事官刺惟那告白

於邑士麥創製新妙奇燈告白 ○啟者茲有於邑士麥新妙奇燈係由歐洲格致之士近日精思新法創製而成用以配於煤氣燈之
上蓋為神妙且其製甚為靈便無論何項煤氣火無不可以更合而用且其功用甚多茲特約開如左

- 凡用此燈者一經此燈則更勝於電燈甚遠
- 即較此燈之費較省六分之二
- 其光亮則較普通煤氣燈一倍
- 大光之熱氣較普通煤氣燈少十分之七
- 無煙無臭之氣
- 無火之患
- 其光亮可以耐看並無眩目

今此燈新到時地經新嘉坡西人公登 香港上海新運銀行 新嘉坡義勇會堂以及各處均有用之無不盛稱其妙
此燈在叻係託安勿蘭洋行代運而羅本安洋行亦有代售沽買特此佈 聞 大英一千八百九十四年十一月三號 啟

北基領事政使司為 招承餉碼事照得本國家現有各餉碼招商承辦茲將各碼具開如左 北基領及納蘭鴉片烟碼 北基領及納
蘭酒碼 北基領及納蘭當碼 雜烟碼此准納蘭一地而已 出入口稅碼此准北基領一地而已 賭禁之賭碼此准北基領一地而
已 各碼分入一舉均無不可其票當於西本年十一月三十號即華十一月初四日以前送交現任納蘭輔政司署內以便選擇其餘一切詳
細情形可向駐叻代理人牙直星洋行詢問便得各宜知照勿違特示 英一千八百九十四年八月廿一號 示

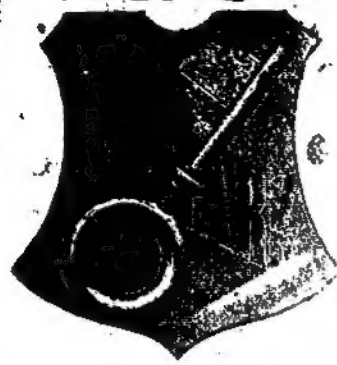
H. E. HOLTY.
MEDAN,
DELI.

務認理代

啟者 余素習西律故於訟案積無不會其通學繼申韓領總自信故乃其源學出而問世因在日理及惹葛地方與
人代辦訟案並債務等事其不辭勞瘁新嘉坡檳榔嶼六甲各處仕商等如在以上所列兩地有被人拖欠賬目及
轉帳不清等情可照以上所列兩國半機書函列直達 知自能代向該處公堂控追債務必令其清償至若嗣後
用祇於討還債項之資抽出十分之一以作酬謝惟於堂費則不在其內然堂費亦屬無幾誠諸君亦所弗弗也倘諸君有
遇此等訟務者向期關注 必竭忠代理斷不負所託之微忱也此佈
大英一千八百九十四年七月三號 大清光緒二十年六月初一號 慶芝伊何因知謹啟

售發酒蜜

香山酒總商會 案時上項國法



TO BE HAD OF ALL WINE MERCHANTS

敬啟者本公司親由法國督辦
上好萬國池酒來叻發售其酒
清香濃郁醇厚異常飲之誠可令
人長血氣壯筋骨悅顏色妙矣無
窮今市上所有各酒無有能
出其右者誠佐饌中妙品也至此
酒本公司一經沽出無不家
出皆 諸君光顧請細認蜂標
標為記並細辨香味方不致誤價
甚相宜倘有欲份之購者所早至
惠臨沽買是幸
大英一千八百八十八年六月二
十號
大清光緒十四年五月十一日
明鳴也洋行謹啟

啟者本行由歐洲辦到上等帶酒來叻發售其酒甚佳茲將標印
出 諸君光顧請細認免致有誤近聞有無恥之徒假冒本行銀匙
標酒希圖目魚混珠最堪痛恨今本行再行核定其酒樽木杪內加鐵
烙鎖行形以示分別倘 諸君有知何人假冒到本行報明即謝花
紅銀二百大元經官訊定即能發斷不食言再此酒不能販往
加勝吧 三發 厘末 蘇加 檳榔嶼 日理等處其
他各埠均能運往特此佈 聞
大英一千八百九十三年五月廿六號
大清光緒十九年四月十一日
明鳴也洋行謹啟

售出品三

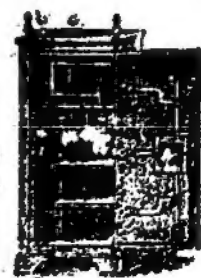


啟者本行督辦歐洲馳名三品洋酒來叻發售
其酒係白頭式發售有年沽飲 諸君莫不
稱其香醇奈近有無恥之徒假冒本庄三品酒
蓋式以圖魚目混珠情殊可恨嗣後 諸君若
買本行白頭三品酒者請細認本號招牌之內
有小包印計華字新嘉坡明鳴也公司者
始無誤若此字樣即係偽冒請為細認此佈
大英一千八百八十五年十二月十九號
明鳴也 謹啟

售發櫥鐵名



嘗思養生之道所最要者則惟飲食其大則惟睡眠必須有以善其始始意
此本行鐵櫥所以為 諸君之所共賞也蓋本行所賣之鐵櫥久已馳名於東
方一帶而特噴噴則馳名尤為至本行所賣此等鐵櫥已有三十年之久其製
為堅固保能避火且其造法甚妙非盜賊等所能開計其櫥全身均用鐵製成
並無雜以木料且櫥內自設有小櫃一式開閉無
有費勞之分至於各櫥大小
不一而價則約一百元至
四百元凡用之者可保其不
受焚燒即火災亦無所損本
行之鐵櫥實為叻坡諸華商
所喜購而本行每年所沽亦殊不鮮茲特為之錄佈倘
諸君有惠顧者新即玉臨選購為盼
大英一千八百八十九年十一月十八號



明鳴也洋行謹啟

賣發酒密烏



啟者本行向由英國督辦各
種美酒來叻發售久已馳名
茲復由英新辦到頭等
士斗雲字號之狗頭標烏密
酒到叻發售此酒香美異常
不惟飲之可口且能保養精
神調和血氣常飲令人不生
疾病誠酒國中上品也 諸
君光顧請細認以上所列之
狗頭標印不致誤且價甚相
宜倘 諸君有欲份飲者請
至本行取用可也此佈
大英一千八百八十八年八
月十五號
明鳴也洋行謹啟

